

〈音楽科〉 1年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・歌や曲に合わせて、手やカスタネット・タンブリンなどの打楽器を演奏したり、音楽に合わせて身体表現をしたりすることを楽しむことができる児童が多い。
- ・音楽を聴くと自然に体を動かしたり旋律を口ずさんだりするなど、音楽を感覚的にとらえられる児童が多い。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・音楽を聴いて体を動かしたり踊ったりするなど、活動そのものを楽しむ傾向が見られる。
- ・自分の思いや考えを、リズム打ちや歌遊びに表せる児童が多い。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音楽の授業を楽しみにし、新しい楽曲を積極的に覚えようとする様子が見られる。
- ・様々な表現活動を楽しみながら学習に取り組み、学んだことを生かそうとする児童が多い。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・曲の特徴やリズムを感じながら、歌ったり演奏したり、自由に表現したりする楽しさを味わう。
- ・拍の流れに合わせてリズム表現したり楽器を演奏したりして、表現の基本的技能を身に付ける。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・表現活動の楽しさを味わわせる授業を積み重ねる。
- ・音の大小・強弱・速さ・リズムの違いなどを体験し、様々な表現方法を知る。
- ・発する音の音楽性に留意して、音の印象を判断する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・発する音に気を付けて、美しい響きで演奏しようとする。
- ・音に関心をもって聴いたり演奏したりして、音色に対する感覚を育てる。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・音楽を聴いて体を動かしたり、踊ったりする活動を楽しむ児童の姿を大事にし、常に音楽と一体となった楽しい表現活動ができるよう魅力のある教材の選択と指導を工夫する。
- ・音楽に合わせて歩く、拍の流れに乗って身体表現をする、リズム遊びを通して簡単なリズムやフレーズを模奏する、体でリズムを感じ取ることができる授業をする。
- ・打楽器や鍵盤ハーモニカに親しませ、簡単な旋律を演奏できるようにする。

〈思考力・表現力・判断力等〉

- ・範唱や範奏を聴いてリズムや曲の特徴を感じ取るなどの音楽的感覚を育てるようにする。
- ・友だちと一緒に歌ったり、歌詞の表す情景・気持ち・場面など思い浮かべたりして、表現を工夫する。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・音やリズムを聞き味わう活動を通して、音楽を聴くことに親しみをもたせるようにする。
- ・自分の歌声や友だちの歌声に関心をもたせ、丁寧に歌ったり、みんなの声と合わせて歌ったりする習慣が身に付くようにする。